

## 協議の場の結果の公表について

上峰町長 武廣 勇平

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村名 (市町村コード)	上峰町 (41345)
地域名 (地域内農業集落名)	坊所 (坊所集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月26日 (第1回)

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

圃場整備も完了し、米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業を行い、坊所営農組合及び第一機械利用組合により担い手の育成に取り組んでいるが、農業従事者の高齢化が進み水路の清掃などの区役参加者が減少し、地域農業の維持が年々難しくなっている。  
また、主要県道、町道が網羅する町の要衝であることから各種公共施設もこの地域に集中しているため、公共施設を中心とした住宅地域を形成しており、生活環境の向上を目指し、生活道路、上下水道の整備による快適な環境の整備に力を入れている。  
これらのことにより、当地域では農業者数は減少する一方で、住宅地の増加に伴い非農業者人口が増加していく中で、農地と宅地との土地利用を計画的に行い、新たな住民が地域活動に積極的に参画していくことで、農業者が農業を維持しやすい農村環境づくりを進めていくことが課題となっている。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

平成3年に圃場整備事業が完了しており、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業を行っている地域で、現在集落営農組織を中心とした営農が進められている。町の中心部として各種公共施設、機関等が集中しているため宅地化が進み、農業と住宅地域が混在する地域となっており、優良農地の確保を基本として農村環境の保全に努力し、地域が潤うような集落を目指している。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	99 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	57 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、新たな担い手の確保を模索する。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、所有者の貸付意向時期に配慮しながら段階的に集約化する。
(3)基盤整備事業への取組方針
取組が可能と思われる区域については整備済みであり、これ以上の取組は考えていない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
現状では担い手により地区内の農地を維持管理できているが、将来に向けては後継者を確保したい。地区外からの参入については、地元の農業者を第一優先とし、それでもいなかった場合に参入していただきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
坊所営農組合で受託しており、今後も継続していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

イタチ・アライグマ対策として箱罠を設置しているが、完全ではないので駆除を進めたい。